

⑩ 日本国特許庁 (JP) ⑪ 特許出願公開  
 ⑫ 公開特許公報 (A) 平3-212355

|  |        |   |                      |
|--|--------|---|----------------------|
| ⑬ Int. CL <sup>®</sup>                           | 識別記号   | 序内整理番号  | ⑭ 公開 平成3年(1991)9月17日 |
| B 65 D 33/10<br>30/24<br>33/16<br>81/26<br>81/28 | C<br>B | 6833-3E<br>8208-3E<br>6833-3E<br>7191-3E<br>7191-3E |                      |

検査請求 未請求 請求項の数 19 (全9頁)

⑮ 発明の名称 袋

⑯ 特 願 平2-5998  
 ⑰ 出 願 平2(1990)1月14日

⑱ 発明者 溝口 勲子 岐阜県大垣市外淵町4丁目1番地の3

⑲ 出願人 溝口 勲子 岐阜県大垣市外淵町4丁目1番地の3

明 知 書

1・発明の名稱

袋

2・特許請求の範囲

- 1、シート材にて作られた袋に弁を接着し外部と内部の關係を調節することを特徴とする袋
- 2、シート材にて作られた袋に閉止弁を接着し外部又は内部を一方向に閉止する事を特徴とする袋
- 3、シート材にて作られた袋に細圧弁を接着し外圧と内圧の調節を調節する事を特徴とする袋
- 4、シート材にて作られた袋に複数個弁を接着し外気と内気の間に気体の流れを調整する事を特徴とする袋
- 5、袋の一部に導気口を設け、導気口を通じて袋端の端口又は内気口が弁の働きをする袋
- 6、シート材にて作られた袋にポンプを有し外部と内部の關係を調節することを特徴とする袋

- 7、前記特許請求項5の導気口に前記特許請求項1の結構とする項又は、前記特許請求項2の特徴とする項又は、前記特許請求項3の特徴とする項又は、前記特許請求項4の特徴とする項の弁を設け、袋の全底または、部分または、弁の外部又は弁の上部を密閉又は封鎖することを特徴とする袋
- 8、袋の四口部の内側に接着材を塗布し接着材の上に折り返しに遮離した制離シート又は折り目を設いた制離シート又はミシン目を持った制離シート等を置き、上記種々の制離シートを引き出した時、袋の内側より接着が出来る事を特徴とした制離シート又はシートの取り付け法
- 9、袋の内部に導気性シート又は、導気孔、導気溝を設けたシートを入れた事を特徴とする袋
- 10、袋に取り付けられた弁の周囲に粘着シート又は粘着力を有することを特徴とした袋
- 11、弁を有した袋に釣具等を付けた事を特徴とする袋
- 12、袋に突起部を設け、突起部に弁を設置することを特徴とした袋

特開平 3-212355(2)

- 1.3. 扉を有した袋に刃又は周囲又は底邊又は防虫等の剤、粘着剤を有した袋
- 1.4. シート材にて作られた袋の開口部に複数の気密シールを設置した袋を特徴とする袋
- 1.5. シート材にて作られた袋の開口部に複数の気密シールを設置し気密シールの間に弁を設置したことを持つ袋を特徴とする袋
- 1.6. シート材にて作られた袋の一部を切り導氣口を設けることを特徴とした袋
- 1.7. シート材にて作られた袋の一部を切り導氣口を設けた導氣口を当げることを特徴とした袋
- 1.8. シート材にて作られた袋の一部を切り導氣口を設け導氣口に特許請求の範囲第1項、第2項、第3項、第4項の特徴とする項を設けた袋
- 1.9. シート材にて作られた袋の一部を切り導氣口を設け導氣口を曲げて特許請求の範囲第1項、第2項、第3項、第4項の特徴とする項を設けた袋

## 3. 発明の詳細な説明

-3-

請求項3にかかる袋は、袋の開口部を閉止し袋の一部に開口弁を設置し、内部又は外部に一方向に調圧する状態となすものである。

請求項4にかかる袋は、袋の開口部を閉止し袋の一部に複数調整弁を設置し、内部又は外部に一方向に調節調整する状態となすものである。

請求項5にかかる袋は、袋の一部に導氣口を設け弁の袋を行う状態となすものである。

請求項6にかかる袋は、袋にポンプを装着し外部と内部の気体、液体等を流動する状態となすものである。請求項7にかかる袋は、請求項1から請求項6までの袋に全体又は部分又は外の上部を密閉又は封緘等をして気密をより計るものである。

請求項8にかかる袋は、袋の開口部に接着剤を塗布しその上に耐候シートをU字型に設け、耐候シートの一端を引き出す事により、内部より抜きするものである。請求項9にかかる袋は、袋の中に通気性シート、導気孔、導気溝を設けたシートを入れた袋の内部空気を均一に吸出する機能をなすものである。

請求項10にかかる袋は、袋の弁の周縁に封緘シート

## (産業上の利用分野)

この発明は、日常生活に使用する袋に限るもので食品又は衣料等の包装、保存、荷運時に使用する袋に限るものである。

## (従来の技術)

従来の袋は外部と内部の圧力変化に対する考慮は無く任むだけの袋であった。

## (発明が解決しようとする課題)

食品保存には、真空保存が良く、又衣料の保管には防虫が良いのは、公知の通りである。しかし各家庭でこれらの機能を持つ袋を得る事ができなかつたのも、各家庭で誰でも簡単に目的に応じた袋の提供を課題とするものである。

## (課題を解決するための手段)

請求項1にかかる袋は、袋の開口部を開止し、袋の一部に弁を装着し外部と内部を遮断した状態となすものである。

請求項2にかかる袋は、袋の開口部を開止し袋の一部に閉止弁を設置し、内部又は外部に一方向に閉止する状態となすものである。

-4-

を設け袋の变形を少なくした状態となすものである。請求項11にかかる袋は、弁の設置され袋に釣具を設けたものである。

請求項12にかかる袋は、袋の上面に突起部を設け弁の作動を変位状態となすものである。

請求項13にかかる袋は、弁を有した袋に背り、黒鉛、陰極、防白、荷締、腐食防止等の袋、袋を有して各々の働きをなすものである。

請求項14にかかる袋は、シート材にて作られた袋の開口部に複数の気密シートを設置してより効果、より簡単、より安全等を計り且つ利用範囲を広める事が出来る袋である。

請求項15にかかる袋は、シート材にて作られた袋の開口部に複数の気密シートを設置してより効果、より簡単、より安全等を計り得る袋である。又気密シートの間に弁を設置して利用範囲を広める事が出来る袋である。

請求項16にかかる袋は、シート材にて作られた袋の一部を切り離した導氣口を設けて独自に作動させる事ができる袋

-5-

-6-

## 特開平 3-212355(3)

請求項17にかかる袋は、シール材にて作られた袋の一部を切り離した導気口を任意の方向に曲げて通気をさせる事ができる袋

請求項18にかかる袋は、シール材にて作られた袋の一部を切り離した導気口を設けて袋内に作動させる事ができる袋に請求項の範囲第1項乃至第15項の記載の後を備えることにより、目的の効果を上げることができる。

請求項19にかかる袋は、シール材にて作られた袋の一部を切り離した導気口を任意の方向に曲げて通気を袋内、任意に作動させる事ができる袋に請求項の範囲第1項乃至第16項の記載の後を備えることにより、目的の効果を上げることができる。

## (実施例)

以下、本発明の実施例を説明する。

第一回は特許請求項第一の発明の実施例で袋の一部に弁(2)を設け、開口部にファースナー又は接着材又はクリップ等で閉口し、内部と外部を分離して行う。第二回は特許請求項第二の発明の実施例で袋(1)

に通気孔(7)をあけ、弁(5)の一端を接着(4)して通気孔(7)を通じて弁シート(3)を開け換気を行う

第三回は特許請求項第二の発明の実施例で第二回の弁の作動の開放状態を示したものである。

第四回は特許請求項三の発明の実施例で通気孔(7)を有した弁(8)に弁(6)を接着させ、前記弁座を袋(1)に接着させ、外圧と内圧の差異を測定を行う。従って袋(1)に開口弁、側面弁、流量調節弁とをつため袋、弁座、弁、通気孔の各々に刃、導管、膏方、組合せの方液が並々貯留上がり、より効率的に圧力調整を行ふ事ができる。

第五回は特許請求項第三の発明の実施例の袋で第三回の弁の作動の開放状態を示したものである。

第六回は特許請求項第四の発明の実施例で切り目又は合わせ目(9)を有した弁(8)を袋(1)に接着させ、外気と内気の間の気体の流れを調整する。

この時、弁(8)を凹凸、色々な形状を持たせたり又導力性のある材料を使用したり又スリット、合せ目

-7-

-8-

の状態により、よりよい流量調整の種々の作動を行えることが出来る。

第七回は特許請求項第四の発明の実施例の袋で第四回の弁の作動の開放状態を示したものである。

第八回は特許請求項第四の発明の上記第四回の実施例の切り目又は合わせ目(9)を有した弁(8)の上から見た平面図である。

第九回は特許請求項第五の発明及び特許請求項第七の発明の実施例で袋(1)の一部には切り(10)をいたり、導気口(19)を作る。袋(1)の開口部をファースナー又は接着材の密閉シール(11)で遮断部を設けて遮断する。導気口(19)を通じて内部気体を放去する時の導気口(19)が弁の動きを成す。又導気口(19)の部分を形成させる。又導気口に弁を導入、導入に接着させて気体、液体の吸排泄を調節する事ができる。

袋(1)の開口部の上部及び導気孔の上部をファースナー又は接着材又はクリップの密閉シール(12)にて接着させて、外部と内部の接続を遮断する。従って内部の食品又は衣料等は外気との接続の遮断により腐

敗又は防虫等の各々の目的の保管又は保存を行う事ができるものである。

第十回は特許請求項五の発明及び特許請求項七の発明の実施例で第六回Gの断面図を示したものである。

第十一回は特許請求項十六の発明及び特許請求項第十七の発明の実施例で袋(1)の一部に仕切り(25)をいれて、導気口を作る。導気口の間にミシン目又は切り目等を入れる更にミシン目等を抜き込む様にしてその間に導気口(28)の仕切り縫に接続する仕切り縫を設ける。袋(1)の開口部をファースナー又は接着材(27)等で遮断部を設けて遮断する。導気口(28)を遮断して内部気体を放出するこの時導気口(28)が弁の動きを成す。又導気口(28)の部分を屈状させ又は導気口の縫に弁を接着させて外部、内部に気体を吸引及ぼせる事もできる。

袋(1)の開口部の上部及び導気孔の上部をファースナー又は接着材又はクリップ又は仕切り付けシール(26)等にて接着させて、外部と内部の接続を遮断する。従って内部の食品又は衣料等は外気との接続の遮断により腐

-9-

-10-

特開平 3-212355(4)

より腐敗又は防虫等の多くの目的の保管又は保存を行う事ができるものである。

第七回は特許請求項第十六の発明及び特許請求項第十七の発明及び特許請求項第7の発明の実施例で第七回の導気口(28)はミシン目の切口(25)を設けて導気口(28)を一部袋(1)より切り離し、その導気口(28)を折り曲げて並進し袋(1)より導気口が上面に位置を設ち支体で袋(1)の端部を計り固定をはかったところの斜視図である。この様な形で電子レンジで仕様料理したとき、料理の汁等の液体の溢出を防ぐことが出来る。又更に袋の内角など又袋全体を任意に文える支持体等を使用することにより、本物の料理が倒から離れる事が無く腐敗のメニューができる。袖筒体は袋に嵌着、または袋に接触、又は引っかける形にて固定したものと、フリーの状態のものと、固定、フリー双方兼ね備えたものがあるので用途によつて使用する。

第八回は特許請求項第十五の発明の実施例で、シール材にて作られた袋(1)の開口部に複数に密閉シール(11)(12)を設置して、複数の密閉シール

(11)(12)の間に弁(2)を設置し、利尿範囲を広めた袋(1)である。従つて電子レンジにてこの袋(1)を使用すればより効率的、より便利に利用できる。つまり袋(1)に食料を入れ密閉シール(12)をして、

そのまま電子レンジにて加熱しを行つても、弁(2)の開口部にて安全に加熱でき、加熱後密閉シール(11)を行えば保有効果を上げる事ができる。

第九回は特許請求項第八の発明の実施例で袋(1)の開口部に接着材(16)を塗布し、その上にU字型に折った剝離シート(17)を接着して、その袋(1)より引いている剝離シート(17)の一端を引き出す事により、内部より挿入することが出来るものである。第九回は特許請求項第八の発明の実施例で第九回の剝離シートの取り出し動作を行つてあるところの圖である。袋(1)の開口部に接着材(16)を塗布し、その上にU字型に折った剝離シート(17)を接着して、その袋(1)より引いている剝離シート(17)の部分の一端を引き出す事により、内部より挿入することが出来るものである。

-11-

第十回は特許請求項第八の発明及び特許請求項第九の発明及び特許請求項第十三の発明の実施例で袋(1)の開口部に接着材(16)を塗布し、その上にU字型に折った剝離シート(17)を接着して、その袋(1)より引いている剝離シート(17)の部分の一端を引き出す事により、内部より挿入することが出来る。又袋の内部に通気性シート、導気孔、導気管を設けたシート(13)をガイドとして入れれば内部の気体を弁より排出する時通気性シート、導気孔、導気管を設けたシート(13)の導気孔を通り均一に弁より排出できる。従つて孜料(14)等が気体の排出によって一方にかたよることが無くそのままの形を保つ事ができる。

第十一回は更十の発明の実施例で弁の内へ剝離シート(18)を装着させて封鎖した上部にガイド板、ガイド管等を設置して既排出の補助をする。

この時弁の位置が剝離シート(17)の所にあつても剝離材、剥離シート(18)を接着する又は添えることにより、簡単容易に且つ便利に剝離シート(17)を取り出す事ができる。

又弁(3)の周囲に補強材、補強シート(18)又はガイド板、管(15)を接着する又は添える事により、ポンプにて吸引する時形成された補強材、補強シート(18)又はガイド板、管(15)が補強して容易に日常使用されている掃除機にても直交にする事ができる。

又更に香り、脱臭剤、除湿剤、防腐剤、腐敗防止剤、乾燥剤等又は香り、脱臭剤、除湿剤、防腐剤、腐敗防止剤、乾燥剤等を塗布、浸透したシート(13)を入れる事により香り、脱臭、除湿、防腐、腐敗防止、乾燥等の効果を成す物である。

十二回は特許請求項第十一の発明の実施例で弁を有した袋(1)の密閉されている以外の上部耳の一部分に穴(20)を設けたり縫(19)を作り出した袋

第十三回は特許請求項第十一の発明の実施例で弁を有した袋(1)に引っかけ型のフック(21)を装着(22)した、刃具を有した袋

第十四回は特許請求項第十二の発明の実施例で袋(1)に突起部(23)を設け、突起部に(23)弁(2)を装着する。この袋を電子レンジで仕様料理したとき、

-12-

—482—

特開平 3-212355(5)

料理の付等の液体の漏出を防ぐことが出来る。又突端部の上部及び下部に弁を設置して使用すればポンプ等にて液体が容易に供給されるものである。

第十五図は特許請求項第十二の発明及び特許請求項第六の実施例で袋(1)にポンプ(24)を装着し外部と内部の気体、液体等を流通させる状態となるものである。ポンプ(24)はジャバラ構造を有するれば手動にて操作でき、且つ使用後は組みて収める事が出来るため取扱いにも便利である。

第十六図は特許請求項第五の発明及び特許請求項第六の発明及び特許請求項第三の発明の実施例で袋(1)の一端に仕切り(10)を以て、導気口(19)を作成する。袋(1)の開口部をファースナス又は接着剤の密閉シール(11)で遮断部を設けて遮断する。導気口(19)の一端に尼魯、又は複数、又は重ね合わした弁(8)を装着する更に調圧後に於て導気口の先端を密閉シール(12)で密閉したものである。

第十七図は特許請求項第一の発明及び特許請求項第二の発明及び特許請求項第三の発明及び特許請求項第四の発明の実施例で袋(1)に閉止弁および逆止弁を設

置し、外部と内部の外圧、内圧等の關係又は流量の關係を調節できるものである。なお閉止弁並止弁を一体に製作して袋に接続すればコストが安くなり且つスペースも少なくてすむ。

#### 4・断面の簡単な説明

第一図は本発明の第一実施例の袋の断面図

第二図a,bは本発明の第二実施例の袋の断面図

第三図c,dは本発明の第三実施例の袋の断面図

第四図e,fは本発明の第四実施例の袋の断面図

第五図は本発明の第五実施例の袋の平面図

第六図g,hは本発明の第六実施例の袋の平面図、斜面図

第七図は本発明の第七実施例の袋の平面図、斜面図

第八図は本発明の第八実施例の袋の平面図

第九図j,kは本発明の第一実施例の袋の断面図

第十図は本発明の第十実施例の袋の断面図

第十一図は本発明の第十一実施例の袋の断面図

第十二図は本発明の第十二実施例の袋の断面図

第十三図は本発明の第十三実施例の袋の断面図

-15-

-16-

第十四図は本発明の第十四実施例の袋の斜面図

第十五図は本発明の第十五実施例の袋の斜面図

第十六図は本発明の第十八実施例の袋の斜面図

第十七図は本発明の第十九実施例の袋の斜面図

10 仕切り

21 フック

24 ジャバラポンプ

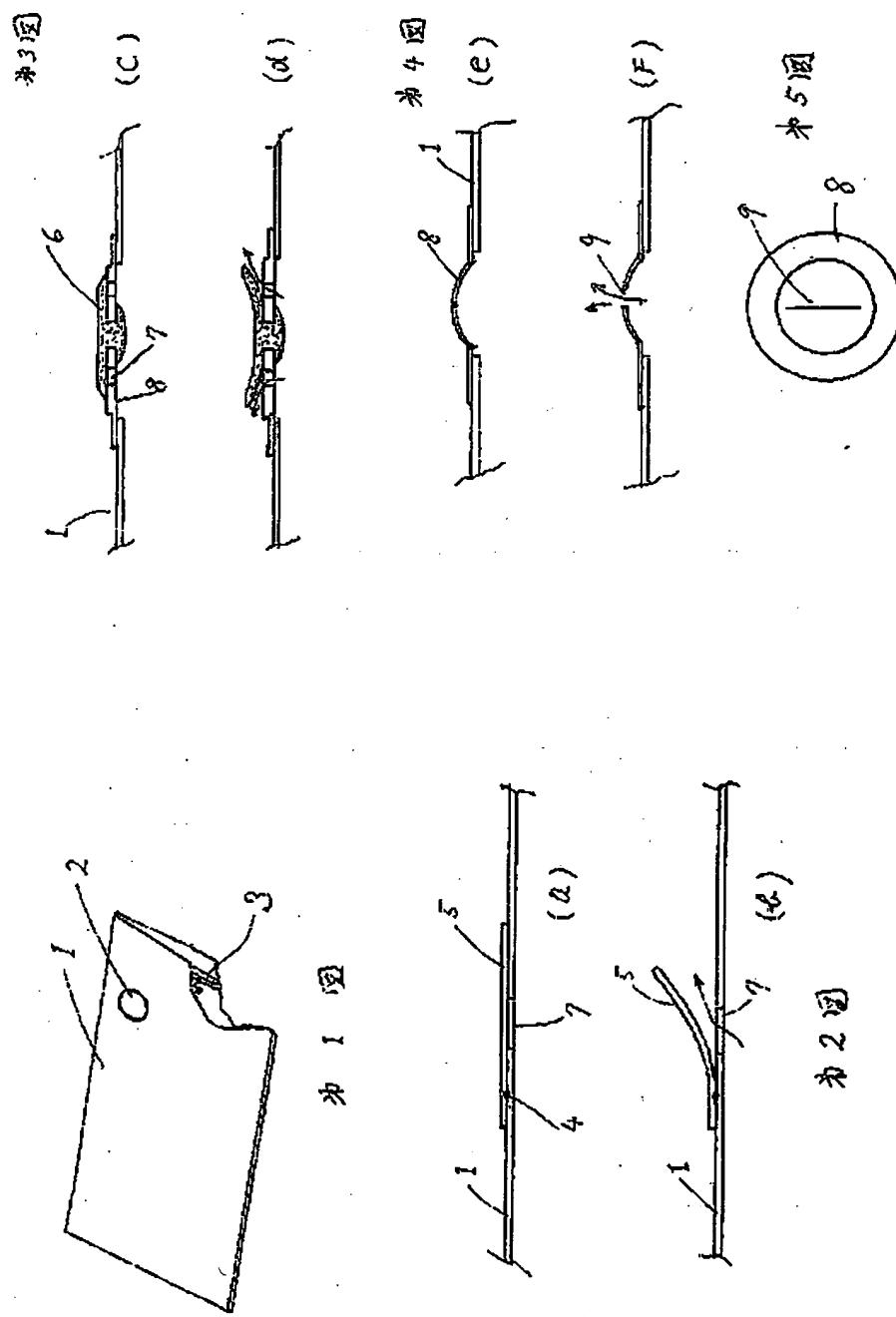
- 1 袋
- 2 弁
- 3 ファースナー
- 4 締着
- 5 弁シート
- 6 弁
- 7 导気孔
- 8 弁
- 10 仕切り
- 11 気密シール
- 12 気密シール
- 13 通気性シート
- 14 表封
- 17 制動シート
- 18 塗装シート

特許出願人押印

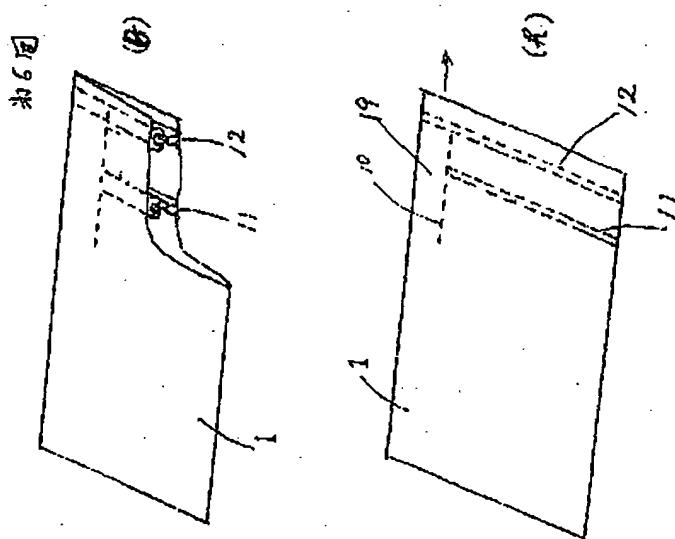
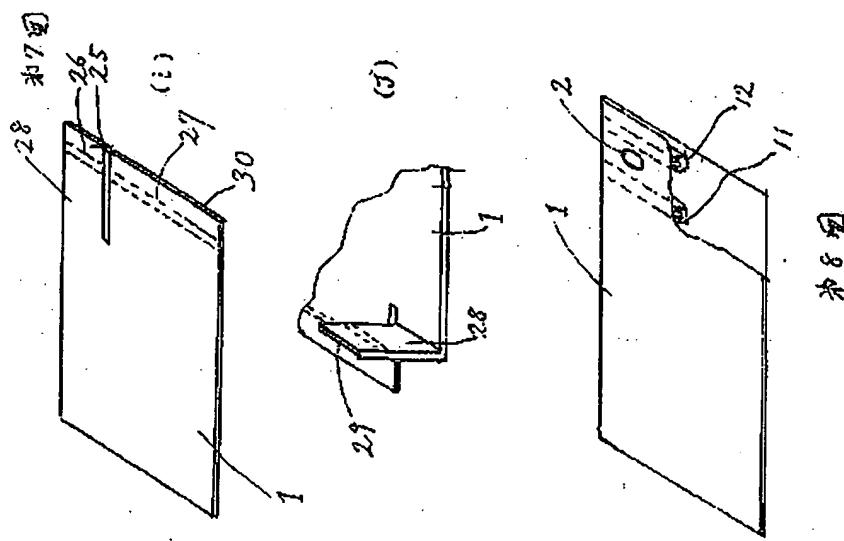
-17-

-18-

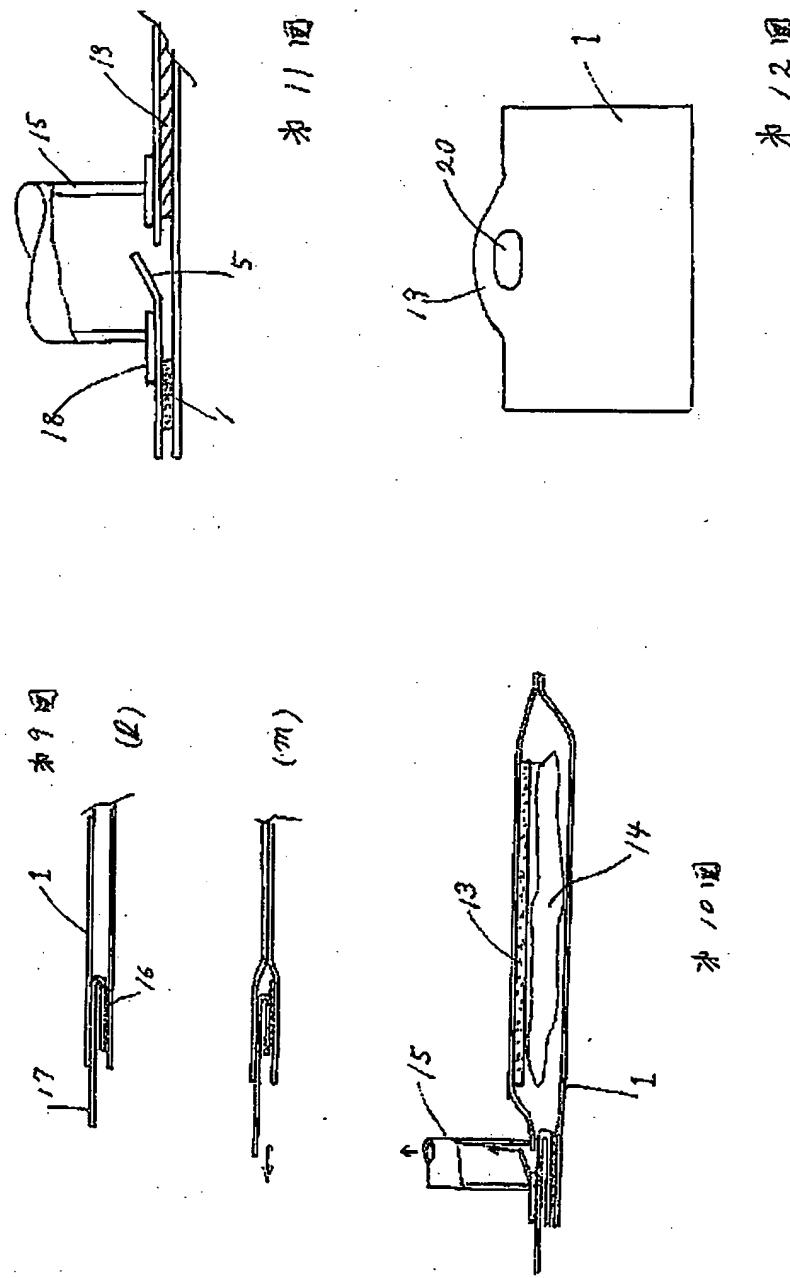
特開平 3-212855(6)



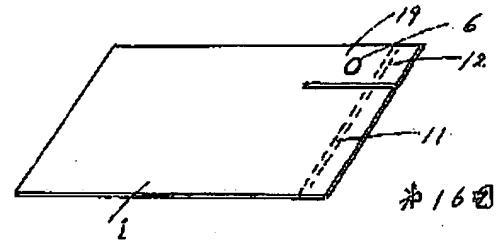
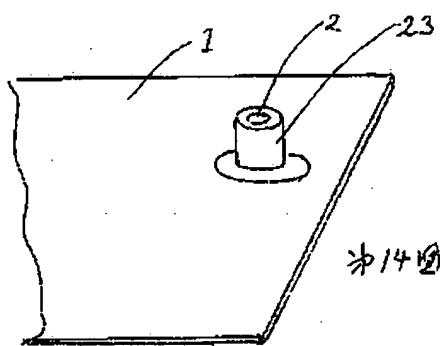
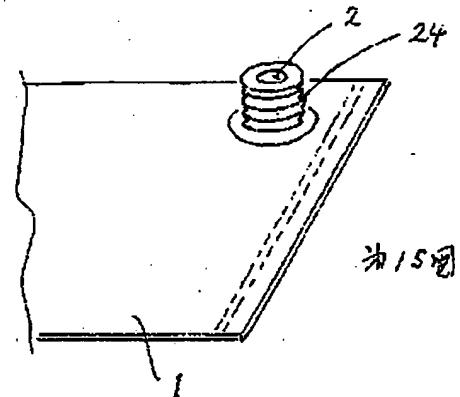
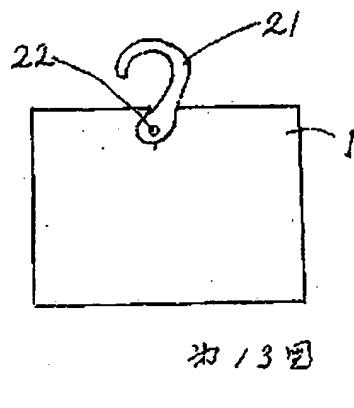
特開平 3-212355(7)



特開平 3-212355(8)



特開平 3-212355(9)



第17圖